

二葉町防災新聞

編集・発行
二葉町自主防災会

た。
今後は、

二葉町で自主防災会が

設立されました！

私達の住む下知地区は、昭和二十一年の昭和南海地震で家屋の倒壊と津波による浸水で大きな被害を出しました。

災害時には、行政の力はすぐには住民にまでは届きません。

そんな中、被災地である神戸や新潟中越住民の

自分の命は自分で守る！

自分達の地域は自分達で守る！

の教訓を活かし、「地域住民が共に、命を助け合う準備に取りかかりたい」として二葉町自主防災会を十一月十日に設立いたしましたし

防災訓練や炊き出し訓練も順次行います。多くの皆様の考えを出し合う事で、二葉町ならではの防災会に育て上げていきましょう。



急ぎたい津波対策



浦戸湾でも鏡川や国分川の河口周辺では、十^{メートル}規模の大津波は襲つてこないでしょう。

しかし、たとえ五十^{センチ}の津波でも人間が流されます。さらに津波は土砂や材木、漁船などを巻き込みながら押し寄せてきますので、

破壊力はただの海水よりもはるかに大きくなります。

写真はチリ地震津波の時に須崎で撮影されたものです。須崎の津波の高さは二^{メートル}程度でしたが、防波堤が決壊して海水がどんどん流入しています。左側の建物は、あつというまにぼろぼろになってしまいました。津波が単なる波ではなく、海水面の上昇であることもよくわかります。木造家屋を全面破壊するには二^{メートル}の津波で十分なのです。

住民の助け合いが

みんなの命を救います

十二月三日は昭和小学校

「あそぼつさい」へ集合！